

高松スタンダード

豊かな学びを創造し、地域とともに伸びる高松っ子の育成

～安心 安全な生活を送るために～



鹿嶋市立高松小学校

鹿嶋市立高松中学校

年	組	名前	
---	---	----	--

高松小中一貫校 教育目標

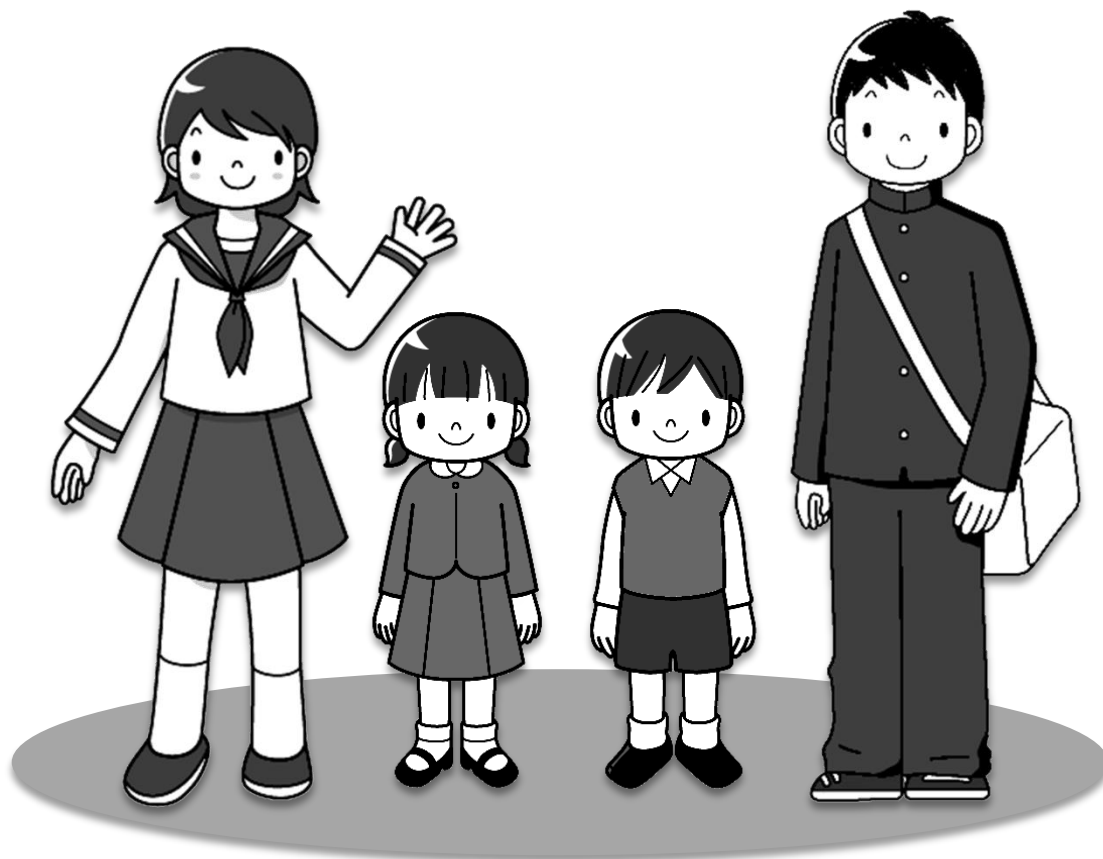
豊かな学びを創造し、
地域とともに伸びる高松っ子の育成

目指す子ども像

夢に向かい、力強く未来を切り拓く、自立した児童生徒

小学校	中学校
学校教育目標	
進んで学び、心豊かで、 たくましい『高松っ子』を育成する	「自立・協働 ～夢に向かい 力強く～」 「自ら学び、心豊かで、 たくましい生徒」の育成
目指す児童・生徒像	
自分のよさ、友達のよさ、 高松のよさが分かる子 夢や希望をもち、 実現に向けて粘り強く努力する子 礼儀正しく、思いやりの心をもって 接することのできる子	心豊かな生徒 自ら学ぶ生徒 たくましい生徒


学校生活について



<通学について>

小

中

小学校	中学校
<ul style="list-style-type: none"> ・決められた通学路を歩く。 ※ 特別な理由によって、登下校で通学路が変わる場合は、「通学路変更許可書」を出す。 ・通学班で登校する。 ・黄色い帽子を着用し、右側を 一列で歩く。 ・体育のある日には、体操服 で登下校してよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・決められた通学路で登校する。 ・徒歩又は自転車とする。自転車の場合は、保護者が自転車通学届出書を提出する。 ・徒歩の場合も蛍光たすきを着用する。 ・制服で登下校する。 ※放課後に部活動がある場合や荒天時は体操服で登下校してもよい。 ※気温が高い時期（夏服期間）は半袖、ハーフパンツで登下校してもよい。

<朝の時間>

小

中

小学校	中学校										
~8:00	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻しないよう、余裕を持って登校し、8:00までに教室に入り着席する。 ・準備ができた児童・生徒から、読書活動等に取り組む。 										
8:00 ~ 8:10	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を守って朝の会を始める。 ・出席確認の返事は大きな声です。 										
8:10 ~ 8:20	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">月</td> <td style="text-align: center;">読書</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">火</td> <td style="text-align: center;">ドリル学習</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">水</td> <td style="text-align: center;">読書</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">木</td> <td style="text-align: center;">新聞ワークシート</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">金</td> <td style="text-align: center;">基礎力アップ問題</td> </tr> </table> <p>※3~6年生は、総合的な学習の時間を行う。第1・第3金曜日は朝自習または読書を行う。 ※月初めの水曜日は清潔検査を行う。</p>	月	読書	火	ドリル学習	水	読書	木	新聞ワークシート	金	基礎力アップ問題
月	読書										
火	ドリル学習										
水	読書										
木	新聞ワークシート										
金	基礎力アップ問題										

< 欠席・遅刻・早退について >

小中 共通		<div style="display: inline-block; border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; text-align: center; line-height: 40px; font-size: 24px; margin-right: 10px;">小</div> <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; text-align: center; line-height: 40px; font-size: 24px;">中</div>
<ul style="list-style-type: none"> ・欠席・遅刻の際の電話連絡は、7:40～8:00 までにもらう。 ※teturu で欠席・遅刻の連絡をする際は、7:30 までに入力する。 		
中学校		<div style="display: inline-block; border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; text-align: center; line-height: 40px; font-size: 24px;">中</div>
<ul style="list-style-type: none"> ・8:00 までに教室に入り、着席する。 ・職員室 欠席黒板の記入について 		
① 欠席	保健係が白で名前を書き、欠席連絡があった場合は黄色線で囲む。	
② 遅刻	本人が職員室に来て報告し、名前を黄色の二重線で消す。	
③ 早退	本人が早退する直前に職員室に来て、赤で名前を書く。	

< 下校時刻について >

小学校		<div style="display: inline-block; border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; text-align: center; line-height: 40px; font-size: 24px;">小</div>									
下校完了時刻											
月	全校一斉下校					全学年		14:40			
火	学年下校					1～2年	14:40	3～6年	15:35		
水	学年下校					1～2年	14:40	3～6年	15:35		
木	クラブがない日	全校一斉下校				全学年		14:40			
	クラブがある日	学年下校				1～3年	14:40	4～6年	15:35		
金	学年下校					1・3年	14:40	2、4、5、6年	15:35		
中学校		<div style="display: inline-block; border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; text-align: center; line-height: 40px; font-size: 24px;">中</div>									
<ul style="list-style-type: none"> ・部活動のない日（参加しない日）は、すみやかに下校する。 用のある場合は、担任に許可をとり、16:30には下校する。 ・下校時刻を守れるように、部活動を終了する。 ・月ごとに部活動最終下校時刻は変更する。学校長の許可により延長が認められる。 											
校長許可	前期					移行	後期				
	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
無し	17:00	17:00	17:00	17:00	17:00	16:40	16:40	16:20	16:40	16:40	17:00
有り	17:45	17:45	17:45	17:45	17:45	17:00	/	/	/	17:00	17:30
※10月については、新人戦終了までは 17:45 とする。											

< 自転車の乗り方 >

小

小学校

- ・ヘルメットを必ず着用する。 ・交通ルールを守る。
- ・学年によって決められた範囲内で乗る。

1・2年生	自宅の敷地内
3・4年生	自分の住む地区内（例：栗生の児童は、栗生地区内）
5・6年生	高松小の学区内（チェリオやワンダーグーは学区外）

中

中学校

- ・ヘルメット、蛍光タスキを必ず着用する。 ・交通ルールをよく守る。
- ・雨天時は、かっぱを着用すること。（傘をさしての運転は禁止）
- ・自転車は、完全に整備されたものとする。

《自転車の整備》

- ・ブレーキ.....前後とも完全にブレーキがきいてしっかり停止できるもの
- ・サドル.....サドルにまたがって両足つま先が地面につく高さであること
- ・ハンドル.....握りがサドル上面より高いこと。ぐらつかないこと
- ・タイヤ.....切りきず、ひびわれなどがなく空気圧が適正であること
- ・後部反射板.....50mはなれたところより反射していることがわかること
- ・ライト.....前方5mのところをはっきりとわかる明るさであること
- ・スタンド.....自転車をしっかり支えられる両立スタンド
- ・ベル・ブザー...遠くまで音がよく聞こえること



- ① 自転車通学をする生徒は学校指定のヘルメットと蛍光たすきを必ず着用する。
 - ・ヘルメットや蛍光たすきは、通学时以外も着用する。
 - ・ヘルメットのひもの長さは、あごとひもの間に指1～2本が入る程度とする。
 - ② 後輪泥よけ部分・ヘルメット後部に、登録番号のステッカーを貼る。
 - ③ 決められた通学路を走行する。
 - ④ 自転車は、実用車または軽快車とする。（T型ハンドルも可）
 - ・ギア付きの場合は、内装型のものとする。
 - ・ライト、ベル、反射板、かご、両立スタンド付きのものとする。（荷台のあるものが望ましい。）
- ※ 電動機付き自転車は、体力的に不安があると申請があり、学校長が認めた場合許可する。
- ⑤ 許可された自転車は、指定された駐輪場にきちんと並べて鍵をかけておく。
 - ※ 鍵は自己管理とし、バッグに保管する。（ダブルロックが望ましい。）
 - ⑥ ヘルメットは、自分の靴箱の指定された場所に保管する。
 - ※ 盗難防止のためにも、自転車のかごには入れておかない。
 - ⑦ きまりを守った通学ができない生徒や、違反生徒は、許可を取り消す場合がある。



<身だしなみについて>

小 中 共通

- ・名札を付ける。（登下校時に名札を付けない。）
- ・学校生活に必要なものは着用しない。（ミサンガ・ブレスレット等）
- ・上履きには記名する。下駄箱にはかかとを揃えて入れる。
- ・上履きを忘れた場合は、朝、職員室でクラスと名前を言い、先生からスリッパを借りる。
- ・髪を染めたり、パーマをかけたり、剃り込みを入れたりするなど、学校生活にふさわしくない髪型にはしない。
- ・室内では防寒着を脱ぐ。（脱いだ上着は適した場所に保管する。）




防 寒 着 に つ い て （ 小 学 校 ）





- ・学校内（教室・廊下等）では、厚い防寒着（ベンチコート、ダウンジャケット等）、手袋、マフラー、ネックウォーマーは着用しない。
- ・学校内で着用可能なもの：普通のパーカー、カーディガン、フリースの上着
- ・体操服の下にスパッツやレギンスをはいてもよい。（見えないようにする。）

頭 髪 に つ い て （ 小 学 校 ）



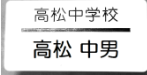
- ・給食当番、体育、その他の学習にじゃまにならないよう、長い場合はしばって登校する。
- ・学校で髪の毛をしばり直すことがないよう、家で整えてくる。

頭 髪 に つ い て （ 中 学 校 ）

男子 	○ <u>前髪が目にかからず、耳にかからず、後ろ髪は襟にかからない長さとする。</u> （ゴム紐・ヘアピン等で髪をたばねることは認めない。） ※ 目にかかると、視力の低下や眼病にかかる可能性が高まってしまう。
女子 	○ <u>前髪が目にかからず、後ろ髪は肩にかからない長さとする。</u> ※ 目にかかると、視力の低下や眼病にかかる可能性が高まってしまう。 ・ヘアピンを使用する場合は、 <u>黒・紺</u> で小さく目立たないものとし、必要以上には使用しない。 ・肩より長い場合は <u>黒・紺・こげ茶のゴム紐</u> を使用し、ヘルメットの着用や運動に支障がないようにしばる。髪をしばる場合には、耳より下でしばる。
男女共通 	○ <u>清潔感があり他の人に不快感をあたえない髪型</u> とする。 ・脱色・髪染め・パーマ・編み込み・そり込み ・ある境目で髪の長さが変わる髪型（ツーブロック等） 極端に左右非対称の髪型（アシンメトリー等）は禁止とする。 ・縮毛矯正等が必要な場合については、保護者の方の申し出が必要。


制服について（中学校）		中
男子 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬服は黒標準学生服を着用する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ズボンは夏冬共通ノータックのストレート型を原則とする。 ・ズボンには派手でない黒色の皮又は合皮ベルトを着用する。 ・中には白いYシャツを着用する。 ○ 夏服は学生ズボンに白いYシャツ(半そで可)を着用する。 <ul style="list-style-type: none"> ・Yシャツの下に着用するインナーは白色とする。 	
女子 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬服は紺色の学校指定の制服(セーラー服)を着用する。 <ul style="list-style-type: none"> ・スカーフの長さはセーラー服のあきどまりのところより短くしない。 ・スカート丈は直立したときひざの隠れる長さとする。 ・冬は、黒いストッキングもしくはタイツを着用することを認める。 ・ブラウスには、グレーのひもリボンを着用する。 ○ 夏服は丸襟、白のブラウス（高松中学校の夏用制服）を着用する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ブラウスの下に着用するインナーは白色とし、下着が透けないようにする。 	
男女共通 	<ul style="list-style-type: none"> ・式（入学式、卒業式、始業式、終業式、修了式）に参加するときは、必ず制服を着用し、靴下は黒・紺とする。マスクをつける場合は白のマスクとする。 ・蛍光たすきや女子のスカーフ、リボンを忘れた場合は職員室で貸してもらい、欠席黒板と貸出し簿に名前を書く。職員室に返したら名前を消す。 	

体操服や着用するものについて（中学校）		中
体操服 	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校・朝の会・帰りの会・授業は、制服とする。 体操服で過ごしてもよい場合 ・放課後、校内で部活動や体操服を着用して行う活動がある場合 ・下校時に、雨が降っている場合 ・事前に指示があった場合 ・指示があったときや清掃時は体操服を着用する。 	
スポーツ用のアンダーウェア 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬は長袖、長ズボンの下にスパッツやレギンスをはいてもよい。 ※ 体操服のファスナーは「TAKAMATSU」と書いてあるところより下には下げない。 	
靴・靴下 	<ul style="list-style-type: none"> ・靴は、ひも付きで体育の授業に適した運動靴とする。 ※底ゴムに勾配があるもの（右図）が望ましい。 ・テニスシューズやスパイク等での登下校は禁止とする。 ・上履きは学校指定のものとし、学年カラーのものを履くこととする。 ・靴下は、<u>白・黒・紺ソックス</u>(ワンポイントも可)、くるぶしがすべて隠れるものとする。 	


 バッグ	<ul style="list-style-type: none"> 通学用バックは、学校に必要な学用品等が入る大きさの物で自転車通学に危険がなく、派手でないものとし、色、形は特に規定はしない。 ※ キーホルダー等は <u>10 cm × 10 cm以内の大きさ</u>で1つだけ付けてよい。
冬の 防寒着に ついて 	<ul style="list-style-type: none"> 手袋やマフラー、ネックウォーマー、耳当て等は認めるが機能性と安全性を考慮すること。また、学校生活にふさわしいかどうかを考え、華美な装飾は避けること。 冬服の下に着用するセーター(ボタンがない物)は、冬服の袖・襟・裾からはみ出さないV字ネックまたは丸襟(男子のみ)で色は<u>紺または黒</u>とする。Yシャツとセーターだけで過ごさないこと 防寒着は中学生らしい学生コートとし、色は<u>黒、紺、茶、灰色の無地</u>とし、長さはひざ程度までとする。また、ウィンドブレーカーも着用できる。
ネーム 	<ul style="list-style-type: none"> ネームは、学校指定の物を左胸ポケットの上部にクリップで付ける。(ネームに飾り等をつけない) ネームを忘れた場合は、担任に報告し、予備のネームを借りる。

中学生としてふさわしくない身なりの例


- ・ ミサンガ・ブレスレット・ネックレス・指輪・イヤリング・ピアス・シュシュ
- ・ サングラス等のアクセサリを着用すること
- ・ 化粧・つけまつげ・アイプチ・眉をいじること
- ・ マニキュア・ペディキュア・ボディペインティング・タトゥー



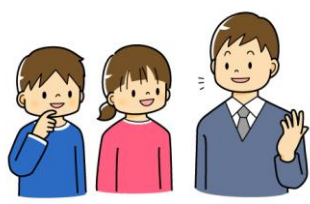
< 学校生活での約束 >

小中共通(事故防止)		小中
<ul style="list-style-type: none"> 登校してからは、校外には出ない。 (やむを得ない理由で校外に出る場合は、先生の許可を得る。) 昇降口では遊ばない。 階段や廊下は、右側を歩く。走ったり、ふざけたりしない。 学校生活に不必要な物や多額の金銭は持ってこない。 【必要であると認めないものの例】 ・ 携帯電話・スマートフォン・マンガ本・ゲーム・雑誌・菓子類 保護者の判断で、水筒(水・麦茶・緑茶)を持参してもよい。 (小学校では、体育行事の時期にはスポーツドリンクをもってきてもよい。) 		
中学校		中
<ul style="list-style-type: none"> 諸費や貴重品等を持参したときは、朝のうちに担任に渡す。 無香料の制汗剤(スプレー、シート)、保湿剤(ハンドクリーム、リップクリーム)を使用してもよい。 		


< 掃除の約束 >

小 中 共通	
<ul style="list-style-type: none">・ 学校生活を清潔に過ごすために、すみずみまできれいにする。・ むだなおしゃべりをしないで清掃を行う。・ 清掃終了後は、反省・挨拶をし、きちんとうがい・手洗いをする。	

< 言葉づかいについて >

小 中 共通	
<ul style="list-style-type: none">・ 場に応じた正しいあいさつや言葉づかいをする。・ 友達や先生、お客様にあったらその場にあったあいさつをする。・ 相手を傷つける言葉は使わない。・ 名前を呼ばれたら、大きな声で「はい」と返事をする。・ 丁寧な言葉づかいをする。「・・・です。」・ 友達には「さん」をつけて呼ぶ。	

< 校外生活について >

小 中 共通	
<ol style="list-style-type: none">1 校外においても高松生としての自覚をもち <u>小学生・中学生らしい態度</u> で生活する。2 外出時は、<u>行き先・用件・帰宅時刻・誰と行くか</u> を家族に話しておく。3 <u>夜間外出や友人宅への外泊</u> はしない。4 交通規則を守り、<u>交通安全</u> につとめる。5 危険な場所に近づかない。<u>危険な遊びを絶対</u> にしない。6 <u>インターネットによる犯罪</u> に巻き込まれないようにする。	
<p>※ <u>ネットいじめ、LINE やメールの誤った使い方、SNS や掲示板への個人情報の書き込み、出会い系サイト、闇バイト等の利用は絶対</u> にしない。</p>	

< 保健室の利用について >

小中共通

小中

- ・ 来室は原則として休み時間とし、緊急の場合を除いて、担任の先生か授業担当の先生に話してから来室する。
- ・ 保健室で休養できるのは、基本的に1時間とする。
- ・ 必要以上の来室はひかえる。
- ・ 原則として家でのけがや、何日間も続けての手当は、保健室では行わない。また、内服薬は服用できない。



< カウンセリング室（キャリアルーム）について >

小中学校

小中

- ・ スクールカウンセラーの先生と授業時間を使って相談するときには、担任の先生を通して、予約してもらう。



学習について



(1) 学習について

◇ なぜ学習するの？ ◇



「なぜ学習するのかな？」

みなさんは、こんな疑問をもったことはないでしょうか？

心も体も大きく成長するこの時期に、このような疑問をもつことはとても大切なことです。

「あなたは将来どんな仕事につきたいですか？」

「10年後、あなたはどんな生活をしていきたいですか？」

「あなたは、どんな大人になりたいですか？」



このような質問をされたら、みなさんはどう答えますか？

みなさんの将来には、たくさんの可能性があります。小学生や中学生の時期は、いろいろなことを身に付けたり吸収したりする「学習のチャンス」です。みなさんは学習することで、将来に必要なことを身に付け自分自身の可能性を育てているのです。

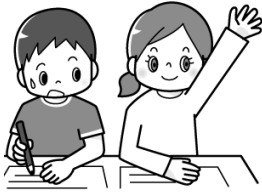
しかし、学校での学習だけで、社会に出てからなんでもできるというわけにはいきません。仕事をするようになってからも学習は求められます。新しいことを学び、ひとまわり大きな自分にステップアップさせながら、自分自身の可能性をさらに広げていくのです。

そのためには、自分で考えたり、調べたり、覚えたりできるようになることが大切です。

その土台となっているのが学校での「学習」なのです。



◇ 学習が苦手？ ◇



「学習は苦手だ！」とっていませんか？
顔の特徴や体の大きさがそれぞれ違うように、考えたり
覚えたりする方法やスピードも一人一人違います。
自分にあった方法を見つけて学習しましょう。

(2) 授業への取組

学習の基本は、「毎日の授業」です。

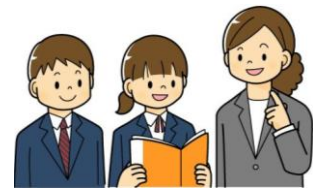
1 時間、1 時間の授業を大切にすることは、必ず結果につながります。

ところで、「授業を大切にする」とはどういうことでしょうか？

そのポイントを8つにまとめました。できていることはそのまま続け、できていないことは少しずつでもできるように改善していきましょう。




◇ 授業を大切にポイント ◇

- 1 先生の説明が終わるまでよく聞く
- 2 忘れ物をしない
- 3 宿題は必ずやる
- 4 授業開始時刻には、準備をして着席する
- 5 ノートやワークシートに、ていねいに書き込む
- 6 友だちと協力して取り組む
- 7 友だちに迷惑をかけない
- 8 積極的に発言・質問をする




<学習のきまり>

1 学習に必要な持ち物

	小学校 小	中学校 中
筆箱の中	<ul style="list-style-type: none"> ○ 削った鉛筆5本 ○ 白い消しゴム ○ フェルトペン（1・2年） ○ 定規 ○ 赤青鉛筆 （高学年は赤ペン・青ペンを使用してもよい。） ○ ネームペン ○ 筆箱 ※ 筆箱は机の中に入るシンプルなものを用意する。 1・2年生は箱型の整理しやすいものを使う。 ※ 鉛筆やキャップはアクセサリがついていない シンプルなものにする。 ※ シャーペンは、使わない。 	<p>※ 学校に必要なのないものや集中力を欠くものは持ってこない。</p> 
道具箱や机の中	<ul style="list-style-type: none"> ○ のり ○ 下じき ○ はさみ ○ セロファンテープ ○ 色鉛筆またはクーピー ○ 30cmものさし(2年生) ○ 三角定規（2年生以上） ○ コンパス（シャーペン式でないもの） ○ 分度器（4年生以上） ※ 持ち物には、名前を書く。 ※ 折りたたみ式定規は不可。 ※ 筆箱にマスコットやキーホルダーをつけない。 ※ ランドセルにつけるキーホルダーは1つのみ。 グー（拳）より大きいものは不可。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ のり ○ はさみ ○ 定規 ○ 三角定規 ○ コンパス ○ 分度器 ○ タブレットPC（Chromebook） ○ そのほか各教科で必要なもの ※ タブレットPCの充電は自宅で行う。 ※ タブレットPCは学習の目的以外では使用しない。 ※ 自分の持ち物には、必ず名前を書く。 

2 学習の約束

小中 共通 小 中	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 始業2分前には必要な学習用具を準備し、着席して静かに待つ。 ・ 始めと終わりのあいさつをきちんとする。 ・ 席を離れるときは、椅子を入れる。 ・ 机の上には、必要最小限のものだけ出しておく。 （筆箱は出しておかない） ・ 授業が終わったら、次の時間の教科書やノートを机の上に準備してから休み時間にする。 ・ ノーチャイムでの生活になるので、始業時刻に授業が始められるよう準備を整え、時計を見て行動する。 	

<授業開始のあいさつ>

「起立。気をつけ。これから〇〇の学習（授業）を始めます。」 『はい！』
「よろしくお願いします。」 『よろしくお願いします。』 「着席。」

<授業終了のあいさつ>

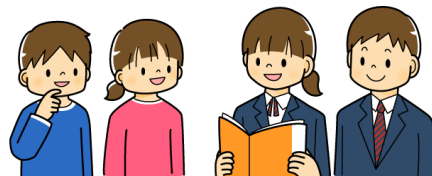
「起立。気をつけ。これで〇〇の学習（授業）を終わりにします。」 『はい！』
「ありがとうございました。」 『ありがとうございました。』 「着席。」

<話し方>

小中

小中共通

- ・聞き取りやすい声の大きさ、速さで話す。
 - ・聞き手のほうに体を向けて話す。
 - ・質問に対して、文末を意識して話す。
- 例：「・・・だからです。」「・・・だと思います。」



<話の聞き方>

小中

小中共通

- ・うなずいたり、メモをとったりして聞く。
- ・話している人の方に体を向けて聞く。
- ・私語をつつしみ、説明や発表をしている人に失礼のないようにする。

- ・メモをとるなどし、説明や意見に対して自分の考えをもてるようにする。



- ・『聞き名人 あいうえお』を身に付ける。(小学校)

あ いてを見て聞く
 い っしょうけんめい聞く
 う なずきながら聞く
 え がおで聞く
 お わりまで聞く

<発表の仕方>

小中

小中共通

- ・挙手するときは、相手を見て、腕をまっすぐ伸ばして挙げる。
- ・指名されたら、元気よく大きな声で「はい。」と返事をする。
- ・発表の際には、語尾を「…です。」「…だと思います。」とする。

- ・『話し名人 かきくけこま』を身に付ける。(小学校)

か かんたんな文で話す
 き こえる声で話す
 く ちを大きく開けて話す
 け っして急がずに話す
 こ とばづかいに気を付けて話す
 ま えをみて話す

- ・発表のマニュアルを活用する。(小学校)

発表のしかた

発表します。
 わたしは、〇〇を使っ
 て考えました。
 意見や質問はあり
 ますか。……が
 はやくさんで
 かんたんで
 せいかくで
 わたしと同じ
 人で発表を
 終わりにし
 ます。

いいと思います。

< 話合いの仕方 >

小 中 共 通

小 中

- ・話し合う相手に体を向け、相手を見て話す。
- ・ノートや情報端末を活用し、相手が見えるようにし、指示棒や手で指し示しながら自分の意見を伝える。



< 文字の書き方 >

小 中 共 通

小 中

- ・正しい姿勢をつくる。(背筋を伸ばして、椅子に深く腰掛ける。)
- ・足の裏を床に着け、安定させる。
- ・教科書をノートの左側に置く。(利き手の反対側に置く。)
- ・鉛筆を正しく持って書く。
- ・必ず下敷きを使う。
- ・利き手でない手でノートを押さえ、ノートから30cm程度目を離して書く。



< 本の読み方 >

小 中 共 通

小 中

- ・背筋を伸ばし、本から目を30cm程度離して読む。
- ・本の下の方を両手で持つ。中・高学年は、片手で本の背を支え、利き手側の下端をもって読む。利き手で本をめくって読む。
- ・大きな声でゆっくり、はっきりと読む。
- ・文章の内容に応じて、緩急を使い分けながら読む。(中学校)

< ノートの使い方 >

小 中 共 通

小 中

- ・ノートのサイズ、マス目の大きさ、罫線の広さは、学年にあったものを使う。
- ・下敷きを使う。
- ・月日を約束の場所を書く。
- ・答え合わせをするときは、どこを間違えたのか、どうして間違えたのか確認しながら、ていねいに丸を付ける。
- ・学習シートを貼るときは、はみ出さないように貼る。
- ・算数の文章題の筆算は、消さずに残す。間違った答えを書いたときは、赤で正しい答えを書き、ふり返りができるようにする。




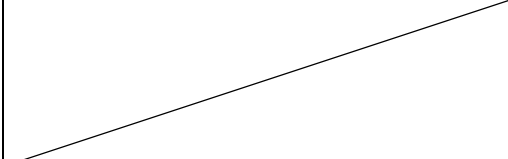
<家庭での学習の進め方>

小学校	小	中学校	中								
<p>【宿題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 先生から出された宿題を行う。 		<p>【宿題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教科担任の先生から指定された課題を期限までに提出する。 									
<p>【家庭学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「家庭学習の手引き」を参考に、毎日家庭学習をする。 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>家庭学習の時間の目安</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低学年</td> <td>10分以上</td> </tr> <tr> <td>中学年</td> <td>20分以上</td> </tr> <tr> <td>高学年</td> <td>30分以上</td> </tr> </tbody> </table>		家庭学習の時間の目安	低学年	10分以上	中学年	20分以上	高学年	30分以上		<p>【家庭学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学年に応じた「家庭学習の手引き」を活用し、毎日提出する。 	
	家庭学習の時間の目安										
低学年	10分以上										
中学年	20分以上										
高学年	30分以上										

<体育の授業について>

小中共通	小	中
<ul style="list-style-type: none"> 体操服を着る。体操服のシャツのすそは、原則としてきちんと入れる。 ※熱中症のおそれがある場合、その限りではない。 大きな声で、返事やあいさつをする。「整列」の合図があったら、素早く並ぶ。 長い髪はゴムでしばる。(女子) ・集合のときは走って集まる。 		

	小学校	中学校
授業の準備	<ul style="list-style-type: none"> 赤白帽子をきちんとかぶり、ゴムひもをあごにかける。 手足にミサンガ、手首にゴムやシュシュをつけない。 体操服以外の服は教室で脱いで、きちんとたたんで椅子の上に置く。 授業の記録ができるものと必要な筆記用具をもっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育ファイルは3年間使用し、成長の跡が見えるようにする。 
授業中	<ul style="list-style-type: none"> 準備体操は、「たかまつ体操」を実施する。 「集合」の合図があったら、先生の前に走って集まる。 立っているときは「気をつけ」の姿勢をし、座っているときや学習カードを書くときには「体育座り」をする。 「体操の隊形に開け」や「もとの位置に集まれ」のかけ声のときには「はい」と元気よく返事をする。 6月～10月は「半袖・短パン」を基本とし、寒いときは、防寒着や手袋等を着用しても良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 立っているときは「気をつけ」座っている時は「体育座り」を基本とする。 授業の始まりに、体力アップ向上の施策として「3周走」を実施する。 6月～10月は「半袖・短パン」を基本とし、寒いときは、防寒着や手袋等を着用しても良い。

見学者	<ul style="list-style-type: none"> ・見学者は運動せずに、友だちの動きを見て学ぶ時間にする。 ・アドバイスや応援など自分でできることをする。 ・寒い場合には防寒着を着用してもよい。 	
その他	【ハンドサイン】 パー・・・立つ（気をつけのしせい） グー・・・すわる チョキ・・・前へならえ	

<板書マーク>



小学校		中学校	説明
下学年	上学年		
◎	◎		課題
も	問		問題
み	見		見通し
じ	自		自分の考え
グ	グ		グループワーク
は	登		クラスワーク
ま	ま		まとめ
て	て		適用問題
ふ	ふ		ふり返り…授業で分かったこと・次にやってみたいこと

<授業の進め方>



小中 共通	
授業のめあ て(課題)の 掲示	「〇〇が分かる。」「〇〇ができるようになる。」というように、 1単位時間で「付けたい力」を具体的、明確に示せるようにする。
授業の流れ の掲示	<p>学習の見通しをもてるように、学習の流れを掲示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・問題を確認する ・ねらいの確認をする ・見通しを立てる ・考える ・1人で・グループで ・話し合う ・発表する ・まとめる ・練習する ・ふり返る </div> <p>毎時間の授業内容に合わせて、学習の流れを掲示する。</p>
活動時間の 掲示	<p>タイマーを活用し、見通しをもたせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・一人で考える〇分 </div>
自力解決の 場の設定	<p>ノートに自分の考えを書かせ、図や言葉、式など、様々な方法で考えることができるような手立てを準備するようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・既習内容の教室掲示 ・ヒントカードの活用 ・ノートの使い方のマニュアルの活用 </div>
学び合いの 場の設定	<p>問題によって、学び合いの形態を工夫する。(ペア・グループ・全体) 机の配置をコの字など学習内容によって工夫する。 学年相応の発表の仕方を身につけさせ、活発に話し合いができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いのマニュアルの活用 </div>
板書の工夫	<p>板書マークを用いてわかりやすい板書にする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・課題 ・めあて ・見通し ・考え ・まとめ ・適応問題・振り返り ・文字の大きさや色チョークの使い方を工夫する。 </div> <p>算数ノートでは見開き2ページ使用を基本とし、板書とノートを整合させると共に、既習事項の振り返りができるノートにする。</p>
適応問題の 実施	<p>本時のねらいを達成できたか確認できる適応問題を実施し、児童のねらいの達成度を確認する。達成度に応じた個別指導や宿題を行う。</p>

まとめ・ 振り返りの 実施	「めあて」に対応した「まとめ」を自分の言葉でまとめることができるよう、 キーワードを示し、授業の振り返りの時間を確保するようにする。
---------------------	---

<タブレット使用について>

小中共通

- 10分間の休み時間には使用しない。
- 業間休みや昼休みは、雨の日や気温が高く外で遊べない時や体育館が使用できない時には使用してもよい。
- 学習、予定・連絡確認等、必要な時は使用する。
- 課題提出や行事等で使用する際は教師に確認して使用する。
- タイピングは、学校でも、自宅でも行っても構わないが、教師が指定したものを使用する。